### (1) 日本国特許庁 (JP)

10特許出願公開

## ⑩公開特許公報(A)

四55—116369

Mint. Cl.3 A 63 B 55/08 A 47 C 9/10 B 62 B 1/12 識別記号

庁内整理番号 6970-2C 6417-3B 6833-3D

①公開 昭和55年(1980)9月6日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全11頁)

#### ❷折りたたみ自在の三脚台

0)特

昭54-107295 願

22出

の発 しゅうしゅう

昭54(1979)8月24日 願

優先権主張

者

◎1978年8月25日③イギリス

(GB) 334695/78

明

ピーター・チヤールズ・ホーク

ス

イギリス国ワーウイクシヤー・

ラグビー・プラウンスオーパー ・エステート・ヒーリー・クロ ーズ10

アンドリユース・マクラーレン の出願 人 ・リミテツド

> イギリス国ノーザンプトン・ロ ングパツクピー・ステーション

・ワークス無番地

仍代 理 人 弁理士 永田秀男

# 明細書の浄書(内容に変更なし)

発明の名称 折りたたみ自在の三脚台

#### 特許請求の範囲

顕端19と足端20とを有する伸長作動部 材18が、第3脚部6に連結されており、酸作 動部材の足燥20が該約3脚形6の頭燥11に 近づき又選ざかる様になつている二つの位置の 間を終第3脚部に瞬速して運動する如くになし ロック装置21を設けて、該第3期部6に擬す して、試作動部材18をその第1位置に解放自 在に固定できるようになし、鮫作動部材18の 足端に跨接するように該作動部材18上に第1 及び餌2の下方旋回部材22と28とが支持さ れており、鮫部1及び第2下方旋回包材22と 23 K 失々係合する顕端26と27とを有し、 又第1及び第2脚部4と5とに失々枢燈された る足輪28と29とを有する第1及び第2連結 部材24と25とを設け、第2単一旋回部材20 が試作動邸材18に附滑されていて、 該作動部

材18を欲切つて延長する旋回船を有しており、 第3单一旋回部材31が第14一旋回部材17 によつて支持されており、釧御機構32を設け、 その顔盛83と足端84とが失々鮫錦2及び錦 3 単一旋回部材 3 0 と 3 1 とに連結されていて、 超解 1 及び無 2 脚靴 4 と 5 とが、その無 1 及び 第2配産の間を旋回運動する間に、鉄第1単一 旋回部材17を餌1及び餌2位盤の間を移勤さ せ、夫々駭祭1及び第2脚部4と5との旋回運 動の間、絃解1及び第2脚部4と5との顕端7 と9とに失々近づけたり遊のけたりなし、又駁 第1単一旋回部材17に垂直であり、かつ、餃 第2単一旋回部材30の旋回軸に平行に延長し ている1個の紬の回りを、鮫剣御機構32の足 始が旋回する間も、上記と同様に駄第1単一旋 回部材17をして眩(1及び第2位置の間を移 動する如くになし、それによつて、数額1及び 第2 即部 4 と 5 と、それらが第1配置にあり又 三脚台1,2及び3がそれらの伸長位置にある 時は破崩1単一旋回部材17を、その第1位置